

ローパーティション防災認定品について

■防災とは

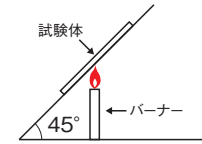
「防災」とは、繊維を燃えにくくすることによって、小さい火源に接しても容易に燃え上がらず、もし着火しても際限なく燃え広がることを防ぐ性能です。

■防災製品とは

防災製品とは「防災製品認定委員会」で定められた防災性能基準や毒性審査規定などにより審査され、要求基準に適合し、認定された製品です。防災製品としてご使用になる場合、防災シールの表示が必要となります。防災製品のラベル表示に関する注意事項、その他については担当者にお問い合わせください。



■ローパーティションの防災性能試験



45°メッセルバーナー法

試験方法は試験体をバーナーに対して45°傾けてセットし、65mmの炎長さで2分間燃焼します。その結果残炎時間、残じん時間、炭化面積が基準以下であり、加熱終了より15分後に再び発炎、およびくすぶりが認められないことが評価基準となります。

※防災製品としてご使用になる場合は、防災製品ラベル表示が必要となります。防災製品のラベルの表示に関する注意事項・その他詳細については担当者にお問い合わせください。

ローパーティションのレイアウトの際の注意事項

ローパーティションをレイアウトする際には、転倒を防止するため以下に記載する条件に従ってください。

基本的にはコーナー部を多くするほど安定しますので、L型よりもT型、コの字型、できればH型をおすすめします。直線だけのレイアウトは避けてください。

また安全にご使用いただくため、お客様ご自身で移設やレイアウト変更をしないでください。組立て・施工が不十分だとローパーティションが破損・転倒するおそれがありますので、移設やレイアウト変更の際には必ずお買い上げ先にご相談ください。

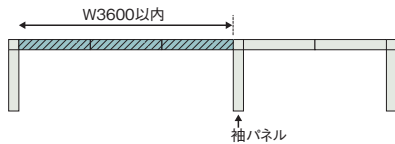
■直線連結の注意事項

①直線連結の最大寸法

パネルの直線連結は最大W3600までです。

それ以上になる場合は袖パネルの設置が必要です。

袖パネルの設置間隔は連結するパネル幅により異なりますのでご注意ください。また、使用するパネルにガラスパネルが含まれる場合は、パネル質量が増加しますので、揺れなどに十分考慮してレイアウトを実施してください。



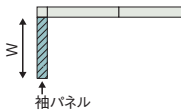
袖パネルの設置間隔 最大連結枚数以内に袖パネルを設置してください。

パネル幅	最大連結枚数
W900以下	最大4枚
W1000~1200	最大3枚
W1400以上	最大2枚

※パネル幅が混在する場合は、全長3.6m以内に袖パネルを設置してください。

②袖パネルのワイド寸法

直線連結部に取り付ける袖パネルのワイドは、床固定なしの場合W700以上、床固定ありの場合はW400以上のものを設置してください。



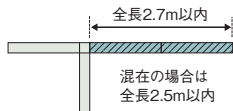
袖パネルワイド寸法(W)

床固定あり	W400以上
床固定なし	W700以上

③直線で終わる連結部

直線で終わる連結部は最大W2700までです。

また、使用するパネルにガラスパネルが含まれる場合は、パネル質量が増加しますので、揺れなどに十分考慮してレイアウトを実施してください。



直線連結の制限枚数 以下の枚数以内の直線連結が可能です。

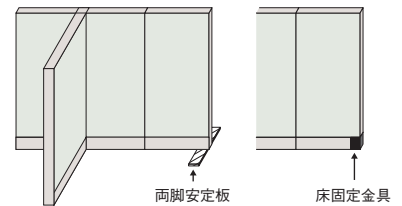
パネル幅	最大連結枚数
W900以下	最大3枚
W1000~1200	最大2枚
W1400以上	最大1枚

※パネル幅が混在する場合は、全長2.5m以内としてください。

■パネルの固定について

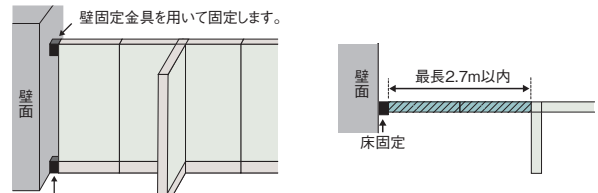
①床固定

直線で終わる連結部分かW1400以上になる場合は、端部に両脚安定板をご使用ください。安定板を取付できない場合には、床固定金具をご使用ください。



②壁固定

パネルエンド部が壁面で、壁材がコンクリートや石膏ボードの場合は、壁固定金具を使用し壁面に固定してください。壁固定金具を取付できない場合は床固定を行ってください。



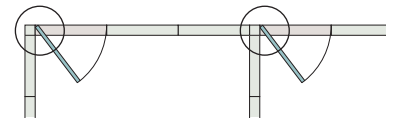
FSXIIは壁固定金具が取付できます。他のシリーズは床固定を行ってください。

■ドアパネルの設置

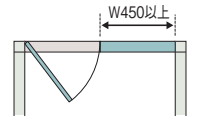
ドアパネルは、内開きが基本です。外開きは特殊な場合を除き採用しないでください。ドアストッパーを必要に応じて取り付けてください。

①ドアパネルの取付

ドアパネルの取付は、吊元がパネルのコーナー部になるようにレイアウトしてください。

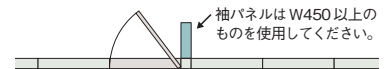


ドアパネルの引手側には、W450以上のパネルを直線連結してください。



②直線連結部にドアパネルを取り付ける場合

ドアパネルを直線連結部に取り付ける場合は、吊元側に必ず袖パネルを設置してください。



③壁面にドアパネルを取り付ける場合

壁面にドアパネルをレイアウトする場合は、必ず吊元をコーナー部にして袖パネルを設置してください。

